

研究発表 I

学校名 神奈川県立茅ヶ崎高等学校 P T A

講演テーマ又は研究テーマ 「一 側面から子どもたちを支える取り組み 一
『想いをかたちに』

茅ヶ崎高校 P T A は子どもたちのサポーター」

1 学校紹介

茅ヶ崎高校は、今年 70 周年を迎え、茅ヶ崎・寒川地区で最も長い歴史を誇る、伝統ある学校です。同窓会も組織され、日頃より子どもたちへの支援をいただいています。私たち PTA は、子どもたちのために積極的に学校行事に参加、協力をしています。

神奈川県では平成 28 年度から県立高校改革実施計画第 I 期の取組が始まっており、共生社会作りに向けたインクルーシブ教育の推進を重点目標の 1 つにあげています。茅ヶ崎高校はインクルーシブ教育実践推進校のパイロット校として、29 年度より、知的障がいのある生徒の受け入れを他校に先駆け行っています。

2 PTA の紹介

現在の茅ヶ崎高校 PTA の役員の構成は、本部役員、学年委員、環境整備委員、広報委員、成人教育委員です。多くの保護者に学校を知ってもらいたいということもあり、学年委員を設けた経緯があります。役員一同で、文化祭やナイ

トハイクの時は一丸となり協力します。委員会等で学校に足を運んだ時には、どの生徒も気持ちよく挨拶をしてくれます。何より他の委員さんや、先生方と気軽に相談したり、情報交換ができたりすることも楽しみの一つです。PTA 活動とは、新しい出会いの場、子どもたちとささやかなコミュニケーションが図れる場であると共に、保護者である私たちも



かけて歩き通します。参加生徒は 10 名位のグループ単位でコースに設置された 6 か所のチェックポイントを通過しながら、ゴールに向かいます。

子どもたちと一緒に成長できる活動だと感じています。

3 ナイトハイクについて

茅ヶ崎高校の行事の一つであるナイトハイクについて、そしてそれをサポートするという視点から報告します。このナイトハイクは、学校行事の中でも全学年が一緒に行う行事の一つで、毎年 10 月初旬に行われます。ナイトハイクはその名の通り、夜中に歩くということで、大雄山「南足柄市文化会館」を夜の 8 時に出発し、茅ヶ崎高校までの約 40km を一晩

☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
20:00	20:30	21:00	23:00	0:40	1:40	3:10	4:30	6:15
南足柄文化会館	スライム	大雄山	小田原はな花	国府津 観音橋	二宮 番茶市場	大磯 番茶園	平塚 花水庵	梶野下 下り
							茅ヶ崎 P T A	ゴール 茅ヶ崎高校

14:00~ PTAのサポート開始！！

かけて歩き通します。参加生徒は 10 名位のグループ単位でコースに設置された 6 か所のチェックポイントを通過しながら、ゴールに向かいます。

ナイトハイクの目的は 3 つです。

- ①誇りを持つ
- ②困難に打ち勝つ
- ③一体感を生み出す

3.11 の震災のときには、40km なら歩いて帰れるという生徒が多く見られ実体験は何にも勝ると感じました。



4 ナイトハイクにおける PTA の役割

生徒の生徒による生徒のためのナイトハイ

クですが、私たち PTA は生徒のサポーターとしての役割もあります。

① 子どもたちの安全サポート

6か所のチェックポイントに教職員と保護者が待機し、通過のチェックをし、安全確認をします。ここで渡す一口のお菓子と笑顔で生徒たちの頑張りを後押しします。途中で棄権する参加者はチェックポイントから一緒に車で帰ってきます。

② 子どもたちの体調サポート

一晩かけて歩ききってゴールした子どもたちに、



『しっかり歩いてね』『無事に帰ってきてね』という想いを込めて作った豚汁とおにぎりを用意し、出迎えます。この豚汁とおにぎりには文化祭でのバザーと環境委員さんによるお花屋さんの売り上げも充てられています。

5 おわりに

昨年は雨となり中止になりましたが、一昨年は生徒 290 名が参加し全員完歩しました。

天候が心配されましたが、雨は5時過ぎまでもち、天も応援してくれました。



疲れ切った様子の中にも満足感のある顔、顔、顔。見ている私たちもうれしく思いました。今回ナイトハイクを中心に PTA の役割について発表しました。茅ヶ崎高校のナイトハイクは生徒有志の実行委員会が中心となって運営され、私たち PTA はあくまでも子どもたちのサポート役です。未来を担う子どもたちが自ら考え、行動し、悩みなが

らも少しずつ成長していく姿を温かく見守っていくことが第一と茅ヶ崎高校 PTA は考えています。茅高生には『茅ヶ崎高校の卒業生です』と胸を張り、様々な場所で花開く人に育ってほしいと願っています。そのために PTA もしっかりと学校と共に歩み、サポートしていきます。



[助言者講評] 大船高校 富樫由里子校長

茅ヶ崎高校の発表から、温かいがずっしりと重みのあるパワーを受け取りました。タイトルにある「想い」は、見ようと思っても見られない、では、それを形にするにはどうすれば良いのか。それは行動することだと思います。そして周囲の人に見ていただき、共有していただくことが必要だと思います。

茅ヶ崎高校のナイトハイクは伝統がある大切な行事です。歩くという意識的な行動と無意識的な行動の間にある自然な行為を行事に仕立て上げ、継続する茅ヶ崎高校は素晴らしく、学校の強い「想い」に敬服します。

実体験は何にも勝ります。手足を動かして深く身体に刻まれたことは、大きな一生の財産になり、正しくそれは、生きる力につながります。ナイトハイクのサポートの食料を買うお金は文化祭の売り上げから出ていることから、文化祭に来ていただいた地域の方々も、間接的に生徒の学びを支える一翼を担っています。保護者の方々のサポートは、様々な「想い」を一つにまとめて伝えています。生徒は、保護者や多数の方に支えて貰っていることが分かっていると思います。

最後に、引継ぎということが大切です。行動の部分の引継ぎだけでなく、「想い」を未来に引継いでほしいです。今後もこの行事が成長していただけたら嬉しいです。

どうもありがとうございました。